

(5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

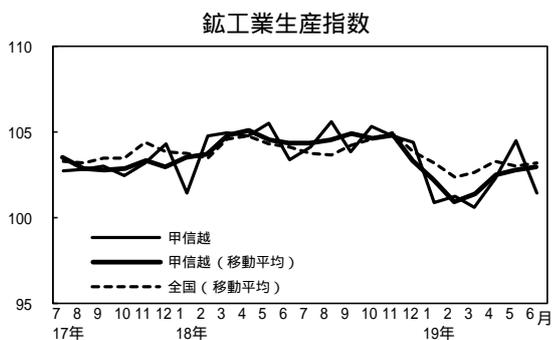
前回からの主要変更点

	前回 (令和元年5月)	今回 (令和元年8月)	
鉱工業生産	弱含み	おおむね横ばい	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

4 - 6月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、増加した。「汎・生産・業務用機械」は、増加した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、増加した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値、甲信越の最新月は速報値。
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	3.5	2.4	3.9	0.2	4.8
汎・生産・業務用機械	24.8	6.8	2.4	1.2	5.7	3.2
食料品・たばこ	12.0	0.4	-	1.8	1.0	-
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	3.5	0.4	2.6	2.1	1.4
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	2.2	1.0	0.2	1.2	3.3
鉱工業	100.0	3.8	1.8	1.7	2.2	3.0

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 4 - 6月期、6月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

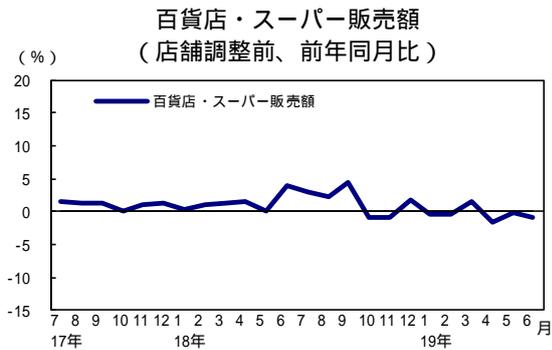
4月は前月比0.5%増、5月は同0.4%増、6月は同0.3%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

4月は、食料品は堅調に推移したものの、衣料品が低調であったため、前年を下回った。

5月は、食料品は堅調に推移したものの、衣料品が低調であったため、前年を下回った。

6月は、食料品は堅調に推移したものの、衣料品が低調であったため、前年を下回った。



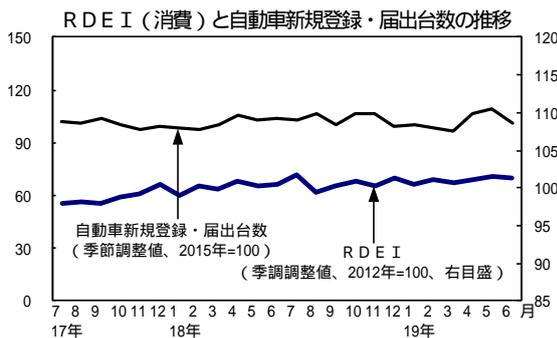
	2019年4-6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	0.7	0.5	0.4	0.3
百貨店・スーパー(*2)	0.9	1.6	0.1	1.0
乗用車(*3)	1.2	2.2	6.2	3.8
(季節調整値)(*3)	6.9	9.9	2.3	7.3

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

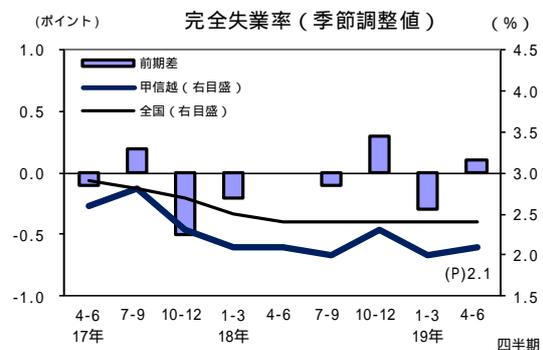
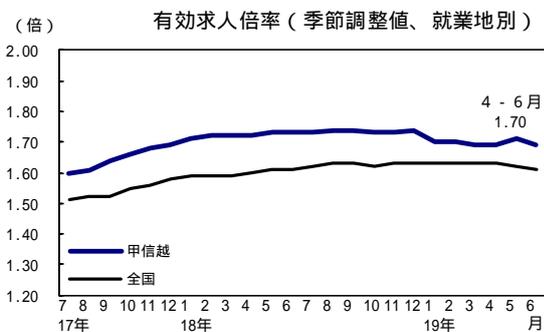
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 4-6月期の値は暫定値。